

インテュイティブサージカル、世界でのダビンチ手術の症例数が 1,000 万件超えへ 低侵襲手術における継続的な技術革新の証となるマイルストーン

【2021 年 12 月 23 日】低侵襲治療の世界的リーダーで内視鏡手術支援ロボット分野のパイオニアであるインテュイティブサージカル(Nasdaq:ISRG 以下、インテュイティブ)は、ダビンチサージカルシステム(以下、ダビンチシステム)を使用したロボット支援手術の全世界における症例数が、12 月 14 日時点で、1,000 万件を超えたことを発表しました。

ダビンチシステムは、2000 年に米国食品医薬品局(FDA)の承認を受け、現在、世界 67 ヶ国で合計 6,500 台以上が導入されています。ダビンチシステムのトレーニングを受けた認定医は世界で 55,000 人以上にのぼり、ダビンチシステムによるロボット支援手術は泌尿器科、婦人科、胸部外科、一般消化器外科、経口的頭頸部手術等の分野の約 70 の術式で実施されています。

インテュイティブ CEO のゲイリー・グットハートは次のように述べています。「世界中の医師が、ダビンチシステムを用いて 1,000 万件以上の手術を実施したことは、より質の高い低侵襲手術が患者さんやそのご家族、医療機関の皆様にもたらすメリットを裏付けるものと考えます。今回の 1,000 万件のマイルストーンと継続的な症例数の増加を誇りに思うと同時に、この実績からの学びを、今後の内視鏡外科手術支援にどう活かすべきかを考える時でもあります。

当社は常に、治療成績の向上、患者さんの満足度向上、治療にあたる医療チームの満足度の向上、治療コストの低減といった、お客様および患者さんのニーズを満たすソリューションの提供を追求してきました。これからも、次の 1,000 万件、そしてさらにその先を見据えて、治療成績の向上に貢献するイノベーションを推進してまいります」

インテュイティブは、これまでの症例から得た幅広い洞察と知見を、よりパーソナライズされたトレーニングプログラム、システム、インストゥルメント、アクセサリーの継続的なイノベーション、顧客サービス、エビデンス構築、デジタル化によるサポートとソリューションを含むエコシステムの構築に活用してまいります。

グットハートは次のようにもコメントしています。「これまでに蓄積された 3 万件近い研究によるエビデンス、そして、外科医、病院、医療機関が、自らのデータと患者さんの治療成績を評価・活用できるようになりつつあることが、ダビンチ手術の執刀医および症例数の増加につながっています。当社の顧客である外科医の皆様は、患者さんの健康な生活のために日々尽力しておられ、それを実現できる技術を採用し、今後も使い続けていかれると考えています」

インテュイティブの最新モデルである第 4 世代システムの「ダビンチ Xi」、「ダビンチ X」およびシングルポートシステムの「ダビンチ SP(※本邦未承認)」は、テクノロジー、インストゥルメントに加え、新たな機能の追加やデジタル化など、今なお進化を続けています。

以上